

# 学校だより



富士南小学校  
学校評価号

平成 30 年 2 月 20 日

## 後期富士南小学校教育アンケート集計結果をお知らせします

お忙しい中、教育アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様から、学校の教育活動に御理解をいただいていることが分かりました。そうした中にも、学校で改善していくべき御意見もいただきました。子どもたちの心身の健やかな成長や学校教育目標実現に向けて更に努力を続けていきたいと考えています。

アンケート結果を紹介いたします。家庭と学校・地域が協力して子どもたちのより良い成長に向けて努力していきましょう、今後とも、御支援をよろしくお願ひします。

＜児童・保護者・教職員共通項目＞		※数値はパーセントを表しています。				
A：そう思う B：どちらかと言えばそう思う C：どちらかと言えばそう思わない D：そう思わない						
番号	質問事項	A	B	C	D	
1	お子さんは、学校で勉強や運動など楽しく取り組んでいる。	児童	63.4	29.1	5.4	1.7
		教職員	26.0	74.0	0.0	0.0
		保護者	58.0	39.1	2.7	0.1
2	お子さんは、学校で友達と仲良く協力して生活している。	児童	69.8	25.6	2.4	1.1
		教職員	26.0	74.0	0.0	0.0
		保護者	56.8	40.5	2.3	0.1
3	お子さんは、学校で勉強している内容がわかっている。	児童	50.3	39.5	6.9	1.9
		教職員	5.0	88.0	7.0	0.0
		保護者	34.1	55.9	8.5	1.3
4	お子さんは、友達や先生、地域の方々に進んであいさつができています。	児童	50.4	38.4	8.4	1.3
		教職員	11.0	60.0	29.0	0.0
		保護者	31.5	52.2	14.4	1.3
5	お子さんは、自分からすすんで取り組んでいることがある。	児童	41.5	41.5	13.1	3.0
		教職員	17.0	62.0	21.0	0.0
		保護者	31.5	48.4	16.6	2.4
6	お子さんは、友達や先生の話を目、耳、心で聴くことができる。	児童	46.9	42.9	7.2	1.7
		教職員	2.0	76.0	21.0	0.0
		保護者	28.1	60.2	10.2	0.8
7	お子さんは、「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。	児童	66.9	26.8	4.5	0.5
		教職員	19.0	60.0	19.0	2.0
		保護者	38.3	51.8	8.7	0.9
8	お子さんは、さん・くんづけをしている。	児童	58.2	28.4	9.7	2.0
		教職員	12.0	43.0	31.0	14.0
		保護者	47.9	42.3	8.4	1.2
9	お子さんから、いじわるやいじめの話を受けない。(友だちにいやがることをしない。)	児童	53.3	35.6	6.6	2.4
		教職員	21.0	71.0	7.0	0.0
		保護者	45.5	41.5	10.0	2.7
10	だまってそうじをする。	児童	36.0	48.8	11.0	2.6
		教職員	12.0	50.0	36.0	2.0
		保護者				
11	朝うんどうをすすんでする。	児童	71.9	19.1	5.4	1.6
		教職員	40.0	48.0	12.0	0.0
		保護者				
12	じぶんにはよいところがあると思う。	児童	45.4	33.8	11.6	6.7
		教職員				
		保護者				
13	算数の時間に2人の先生がいて授業(じゅぎょう)で、勉強(べんきょう)していることがわかりやすい。(3、4年生のみ答えてください。)	児童	66.2	19.5	6.2	5.3
		教職員				
		保護者				

今年度本校では、「自分からあいさつ 自分から行動」を重点目標にして取り組んできました。質問事項4について、多くの子どもたちは、「進んであいさつ」ができています(88.8%)。保護者(83.7%)や教職員(71.0%)は、おおむねできているととらえています。来年度も「自分からあいさつ 自分から行動」を重点目標にし、更にあいさつへの意識を高め、その声が家庭や地域にも響くようになればと考えております。引き続き相手や場面を意識した気持ちの良いあいさつについて考えられるようにしていきますので、御協力をお願いします。また、あいさつをきっかけとして、自分の得意な分野や活動で自ら行動をできる子を育てていきたいと考えています。

質問事項9「友だちにいやがることをしない。」については、88.9%の子どもたちが、AかBと答えています。また、質問事項1、2からも分かるように、多くの子どもたちが、学校生活を楽しく(92.5%)、友達と関わり合いながら過ごしていること(95.4%)が分かりとてもうれしく思います。人間関係づくりプログラム(学級活動)を実施したり、年3回子どもたちにアンケートを取って目を行き届かない部分の様子を調べ、気になる子には、詳しく聴いたりしてきました。また、児童会が中心になり各学級で、友達を大切にす

ためにできることについて話し合ったり、学校が明るくなり笑顔が広がるように南レターや南1グランプリを実施したりするなど、学校全体で「いじめを許さない取組」をしてきました。

このような取組をしていますが、いじめは0にはなりません。例えば、相手にとって良いと思ってした言動も、それによって相手が嫌な思いをするといじめとして認知される場合があります。いじめに対する認識

が変わったこともあり、いじめ件数を0にすることは難しい状況ですが、いじめによる最悪な事態に近付かぬよう今後もいじめの未然防止に努めていきます。そのためには、学校と家庭の連携が不可欠です。今回、質問事項9について、保護者の皆様から一番多くの御意見をいただきました。お子様が、安心して学校に通っているのか、学級の友達との関わり、学級の様子はどうなのかということに心を配ってくださっている証だととらえています。お子さんに気になる表れがあったときには、今後も是非御連絡ください。学校では、情報を得たときには早急に対応をしていきます。普段から子どもたち一人一人に温かな声掛けをするとともに、情報収集に努め、冷静な判断と丁寧な対応を心掛けてまいります。

＜保護者独自質問項目＞						
A：そう思う B：どちらかと言えばそう思う C：どちらかと言えばそう思わない D：そう思わない						
	番号	質 問 事 項	A	B	C	D
学校運営	14	学校便りや学年便り、保健便り、給食便りなどで、学校の様子がよく分かる。	42.3	53.3	3.2	0.7
	15	学校は、気持ちよく訪問でき、話しやすい体制ができています。	38.6	54.7	5.2	0.8
	16	学校は、家庭や地域と連携がとれている。	35.9	58.5	3.9	0.7
	17	先生方は、お子さんのことについて話しやすい雰囲気がある。	50.6	45.3	2.4	1.0
	18	学校は確かな学力をつけるために、個に応じた指導に取り組んでいる。	23.9	61.9	12.6	0.8
	19	学校のきまりは、適切である。	42.2	53.3	2.6	0.8
	20	学校は、子どもの安全を確保する努力をしている。	53.5	44.0	1.8	0.1
家での子どもの様子	21	わが家の子どもは、朝、自分で起きてくる。	23.8	27.2	28.5	19.8
	22	わが家の子どもは、朝食を毎日きちんと食べている。	69.8	23.7	4.9	0.8
	23	わが家の子どもは、お手伝いが決まっていて、やり続けている。	17.3	33.0	33.5	15.3
	24	わが家の子どもは、家庭学習をする習慣が身に付いている。	39.9	41.8	12.8	4.2
	25	わが家の子どもの持ち物には、きちんと名前が書いてある。	27.6	57.5	12.8	1.0
子どもへの関わり方	26	わが家は、大人も子どももあいさつをする。 (おはよう、いただきます、いってきます、ただいま、おやすみ・・・など)	64.6	31.5	2.7	0.3
	27	子どもが、宿題や持ち物を忘れないように見とどけている。	33.3	49.7	12.8	3.2
	28	子どものよいところを見つけ、ほめている。	36.1	56.2	5.9	0.6
	29	子どもが「・・・がほしい。」と言ったとき、がまんさせることができる。	46.3	45.4	6.6	0.4
	30	「はやく」とか「はやくしなさい」を、言わないようにしている。	4.9	21.8	44.4	27.4
	31	学校や先生、御近所の悪口を子どもの前で言わないようにしている。	47.0	45.5	5.3	1.3
	32	わが家は、地域の活動や行事によく協力したり参加したりしている。	29.3	54.7	13.0	2.2

- ・質問事項12は他の質問事項と比較するとC、Dの数値が高くなっていて、自己肯定感の低い子が見られます。子ども一人一人の成長速度は様々です。学校ではその子なりの頑張りを認め、自分に自信をもてるよう支援していきます。また、成功、できるまでの過程や失敗も大切なことです。ですから時間が掛かることもあります。子どもたちの挑戦する気持ち、自分たちでやり遂げようとする気持ちを育てていきたいと思えます。(自分から行動する子＝自主性を育む)
- ・学校運営に関しては、18以外の項目では全て、A、B合わせて90%以上の評価をいただきました。来年度も基本的には今年度と同様な形で学校を運営していきたいと思えます。
- ・質問事項18でも御意見を多くいただきました。「個に応じた指導」について保護者の皆様へ伝わらなかったように感じました。例えば、授業中に十分に理解ができなかった子には、休み時間に分かるよう指導したり、次の授業で学びの様子を見届けたりしています。また、家庭学習(宿題)を確認する際に、間違いが多く見られたときには、休み時間に一緒に取り組んだりやり直したりしています。授業中には子どもに応じた言葉掛けをしています。さらに授業では、複数の種類のプリントを準備し、その子の学びの状況に合った物を配付することなどもあります。今後もどの子にも「できた」「分かった」「(自分が)変わった」等の学びの実感が味わえるよう個を見取り、授業改善に取り組んでいきます。